

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学院の設置								
フリガナ設置者	コウリツダイガクホウジン フクチャマコウリツダイガク 公立大学法人 福知山公立大学								
フリガナ大学の名称	フクチャマコウリツダイガクダイガクイン 福知山公立大学大学院 (Graduate School, The University of Fukuchiyama)								
大学本部の位置	京都府福知山市字堀3370番地								
大学の目的	福知山公立大学は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の理念のもと、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域にねざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域をはじめとする地域における持続可能な社会の形成に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	大学院地域情報学研究科地域情報学専攻は、地域にねざした実践活動の深化による、地域に還元される持続可能な情報技術に基づくプロジェクトの遂行および地域社会に貢献する情報学の深化と研究開発を2本の柱として、学術の理論とその地域社会への応用を教授して研究を積み重ねることで、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識と卓越した能力を備えた人材を育成し、地域社会の発展と地域社会の文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	地域情報学研究科 [Graduate School of Region-Centric Informatics] 地域情報学専攻 [Department of Region-Centric Informatics]	年	人	年次人	人	修士(情報学) 【Master of Informatics】 修士(学術) 【Master of Interdisciplinary Studies】	令和6年4月 第1年次	京都府福知山市字堀3370	
計		2	20	-	40			【基礎となる学部】 情報学部情報学科、地域経営学部地域経営学科、地域経営学部医療福祉経営学科	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	地域情報学研究科 地域情報学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30 単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	地域情報学研究科	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
		地域情報学専攻	12人 (12)	5人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	19人 (19)	0人 (0)	2人 (2)
	計		12 (12)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	2 (2)
	既設	該当なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
		計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計		12 (12)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	2 (2)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員	職員	34人 (34)		10人 (10)		44人 (44)		
	技術職員	職員	1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	図書館専門職員	職員	1 (1)		4 (4)		5 (5)		
	その他の職員	職員	0 (0)		1 (1)		1 (1)		
計		36 (36)		15 (15)		51 (51)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	21,006.35㎡	— ㎡	— ㎡	21,006.35㎡				
	運 動 場 用 地	8,764.78㎡	— ㎡	— ㎡	8,764.78㎡				
	小 計	29,711.13㎡	— ㎡	— ㎡	29,711.13㎡				
	そ の 他	— ㎡	— ㎡	— ㎡	— ㎡				
合 計	29,711.13㎡	— ㎡	— ㎡	29,711.13㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		13,395.53㎡ (13,395.53㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	13,395.53㎡ (13,395.53㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	10 室	34 室	5 室	5 室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数					
		地域情報学研究科 地域情報学専攻		19 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	地域情報学研究科	107,885 [3,342] (103,685 [3,302])	1,108 [42] (1,103 [40])	4 [2] 4 [2]	1652 (1652)	0 (0)	0 (0)		
	計	107,885 [3,342] (103,685 [3,302])	1,108 [42] (1,103 [40])	4 [2] 4 [2]	1652 (1652)	0 (0)	0 (0)		
図 書 館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数				
		1,502㎡		126	109,250				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		— ㎡		—					
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究科単位での算出不可能なため、学部との合計図書購入費については、電子ジャーナル、データベース、その他の経費を含む
	経費の見積り								
	教員1人当り研究費等		815千円	815千円					
	共同研究費等		14,500千円	14,500千円					
	図書購入費	9,914千円	10,000千円	10,000千円					
設備購入費	24,500千円	10,000千円	10,000千円						
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	576千円	576千円	—千円	—千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、寄付金、雑収入等							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	福知山公立大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	地域経営学部	年	人	年次	人		倍		地域経営学科令和2年度入学定員減(20人) 情報学部情報学科令和2年度設置入学定員(100人) 情報学部情報学科令和4年度3年次編入学定員増(2人)
	地域経営学科	4	75	5	310	学士(地域経営学)	1.07	平成12年度	
医療福祉経営学科	4	25	2	104	学士(地域経営学)	1.07	平成12年度		
情報学部			3年次				令和2年度		
情報学科	4	100	2	404	学士(情報学)	1.03			
附属施設の概要		(附属機関)							
		名 称 : 北近畿地域連携機構							
		目 的 : 福知山公立大学と北近畿地域の企業、行政機関その他各種団体をつなぎ、北近畿地域の発展に寄与する							
		所 在 地 : 京都府福知山市字堀小字小谷3370番6							
		設 置 年 月 : 平成28年4月							
		規 模 等 : 延べ建物面積 185.38㎡							
		名 称 : メディアセンター							
		目 的 : 研究・教育・学習等のために不可欠な図書館資料を収集・組織・保管して、これを効果的に提供する							
		所 在 地 : 京都府福知山市字堀小字小谷3370番34							
		設 置 年 月 : 平成28年4月							
		規 模 等 : 延べ建物面積 1502㎡							
		名 称 : 地域防災研究センター							

	<p>目的 : 過去からの幾多の災害を経験してきた福知山地域を中心として蓄積されてきたデータの収集、分析を基に、地域防災に関する現状把握、課題、対応策などの研究を行い、その内容や成果を社会実装に繋げるとともに、より包括的な地域防災のあり方への提言を行うなど自治体の防災・危機管理に寄与する</p> <p>所在地 : 京都府福知山市字堀小字小谷3370番34</p> <p>設置年月 : 平成28年4月</p> <p>規模等 : 延べ建物面積 37.9㎡</p> <p>名称 : 国際センター</p> <p>目的 : 海外との学術交流、留学生の受入、海外留学の促進等国際化の取組を支援する。また、地域の国際交流事業に協力する</p> <p>所在地 : 京都府福知山市字堀小字小谷3370番34</p> <p>設置年月 : 平成28年4月</p> <p>規模等 : 延べ建物面積 37.9㎡</p> <p>名称 : 数理・データサイエンスセンター</p> <p>目的 : 数理・データサイエンスの教育及び研究並びに諸機関との数理・データサイエンスに関連する共同研究を行い、数理・データサイエンスに関連する科学技術分野の教育研究の進展に資する</p> <p>所在地 : 京都府福知山市字堀小字小谷3370番6</p> <p>設置年月 : 令和4年4月</p> <p>規模等 : 延べ建物面積 48.72㎡</p>	
--	---	--

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校に属する学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

公立大学法人 福知山公立大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福知山公立大学 地域経営学部				福知山公立大学 地域経営学部				
地域経営学科	75	5	310	地域経営学科	75	5	310	
医療福祉経営学科	25	2	104	医療福祉経営学科	25	2	104	
情報学部				情報学部				
情報学科	100	2	404	情報学科	100	2	400	
計	200	9	818	計	200	9	818	
				福知山公立大学大学院				
				地域情報学研究科				
				地域情報学専攻(M)	20	-	40	大学院の設置(認可申請)
				計	20	-	40	

教育課程等の概要																	
(地域情報学研究科地域情報学専攻)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究・プロジェクト科目	地域情報プロジェクト演習Ⅰ	1前	2					○			12	5	2				
	地域情報プロジェクト演習Ⅱ	1後	2					○			12	5	2				
	地域情報学特別研究Ⅰ*	2前		6				○			12	5	2				
	地域情報学特別研究Ⅱ*	2後		6				○			12	5	2				
	地域情報プロジェクト実践Ⅰ※	2前		6				○			12	5	2				
	地域情報プロジェクト実践Ⅱ※	2後		6				○			12	5	2				
	インターンシップ	1・2通		2					○			1					
	小計(7科目)	—	4	26	0			—			12	5	2	0	0	0	
情報学科目	離散数学特論	1・2前		2			○					1					
	応用解析学特論	1・2後		2			○						1				
	ハイブリッドダイナミカルシステム	1・2前		2			○			1							
	集積システム設計特論	1・2後		2			○					1					
	IoTシステムハードウェア	1・2前		2			○					1					
	実証的ソフトウェア工学	1・2後		2			○						1				
	人間情報技術特論	1・2前		2			○			1							
	マルチモーダルインタラクション特論	1・2後		2			○			1							
	計算知能特論	1・2後		2			○			1							
	環境情報技術特論	1・2後		2			○			1							
	医用画像解析特論	1・2後		2			○			1							
	時系列メディア論	1・2後		2			○					1					
	小計(12科目)	—	0	24	0			—			6	4	2	0	0	0	
文理融合科目	地域情報学特別講義Ⅰ	1・2前		2			○			12	5	2				オムニバス	
	地域情報学特別講義Ⅱ	1・2後		2			○			12	5	2				オムニバス	
	感性情報データ処理特論	1・2前		2			○					1					
	サービスエンジニアリング特論	1・2前		2			○			1							
	ベンチャー・アントレプレナーシップ論	1・2前		2			○			1							
	実践的社会調査法	1・2前		2			○									兼1	
	地域医療情報システム論	1・2後		2			○			1							
小計(7科目)	—	0	14	0			—			12	5	2	0	0	兼1		
社会科学系科目	地域福祉政策論	1・2後		2			○			1							
	公共ガバナンス論	1・2前		2			○									兼1	
	経営学特論	1・2後		2			○			1							
	国際文化論	1・2後		2			○			1							
小計(4科目)	—	0	8	0			—			3	0	0	0	0	兼1		
合計(30科目)		—	4	72	0			—			12	5	2	0	0	兼2	
学位又は称号	修士(情報学) 修士(学術)	学位又は学科の分野			工学関係												
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
【修了要件】 2年以上在学し、研究・プロジェクト科目の必修科目4単位、情報学研究コースの学生は*の12単位、地域情報プロジェクトコースの学生は※の12単位を選択必修とし、合計16単位が必修、また、情報学科目の選択科目から6単位、文理融合科目の選択科目から4単位、さらに科目群を指定せずに選択科目から4単位を含め、合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はプロジェクト実践報告書の審査及び試験に合格すること。								1学年の学期区分			2期						
								1学期の授業期間			15週						
								1時限の授業時間			90分						

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(地域経営学部地域経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○		1					兼1	
		English II	1後	1				○		1					兼1	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1				○			1				
		TOEIC II	3後		1				○			1				
		中国語 I	1前		1				○						兼3	
		中国語 II	1後		1				○						兼3	
		中国語 III	2前		1				○						兼1	
		中国語 IV	2後		1				○						兼1	
		異文化コミュニケーション	1後		1				○		1					
小計(11科目)		—	4	7	0	—			1	1	0	0	0	兼6		
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2			○							兼1	
		論理学	2後		2			○							兼1	
		心理学	2前		2				○						兼1	
		歴史学	1前		2				○		1					
		地理学	1後		2				○						兼1	
		教育学	1前		2				○			1				
		文化人類学	1前		2				○		1					
		多文化共生論	1前		2				○							兼1
		小計(8科目)		—	0	16	0	—			2	1	0	0	0	兼5
		社会系	法学概論	1前		2				○						
日本国憲法	1前			2				○							兼1	
民法	2後			2				○							兼1	
商法	2後			2				○							兼1	
人権論	1後			2				○							兼1	
経営学入門	1前			2				○			1					
経済学入門	1後			2				○							兼1	
国際関係論	1後			2				○							兼1	
小計(8科目)			—	0	16	0	—			0	1	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2				○							兼1	
	数学基礎 II	1後		2				○							兼1	
	線形代数基礎	1前		2				○							兼1	
	微分積分基礎	1前		2				○							兼1	
	線形代数	2後		2				○							兼1	
	微分積分	2後		2				○							兼1	
	多変量解析	2後		2				○							兼1	
	線形計画法	2前		2				○							兼1	
	生物学	1前		2				○							兼1	
	健康学	2後		2				○							兼1	
	環境学	1前		2				○			1				兼1	
	栄養学	1後		2				○							兼1	
	体育実技 I	1前		1											兼1	
	体育実技 II	1後		1											兼1	
小計(14科目)		—	0	26	0	—			1	0	0	0	0	兼6		

オムニバス

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○									
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○									
		行政学入門	1後		2		○			1						
		地域資源論	1前		2		○			1						
		観光総論	2前		2		○			1						
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○			1						
		地域産業論	2後		2		○				1					
		地域防災論	2後		2		○				1					
		観光情報学	3後		2		○									
		地域福祉論	3前		2		○									
	小計(11科目)	—		0	22	0	—	—	5	2	0	0	0		兼4	
	演習系科目	社会保障論	1後		2		○									兼1
		持続可能な社会論	2前	2			○				1					兼1
		社会福祉論	2前		2		○				1					兼1
		社会調査論	2前		2		○									兼1
		統計学	1前		2		○									兼1
		情報リテラシー	1前		2		○									兼1
		データサイエンス入門	1前		2		○									兼1
		経営情報システム論	2後		2		○									兼1
		IT産業論	3前		2		○									兼1
知的財産論		3前		2		○									兼1	
金融論	3前		2		○									兼1		
小計(11科目)	—		2	20	0	—	—	0	2	0	0	0		兼9		
専門教育科目	演習系科目	地域経営演習Ⅰ	1前	1				○		6	3					兼2
		地域経営演習Ⅱ	1後	1				○		6	3					兼2
		地域経営演習Ⅲ	2前	2					○	8	6					兼3
		地域経営演習Ⅳ	2後	2					○	8	6					兼3
		地域経営研究Ⅰ	3前	2						9	6					兼3
		地域経営研究Ⅱ	3後	2						9	6					兼3
		卒業研究Ⅰ	4前	4						9	5					兼4
		卒業研究Ⅱ	4後	4						9	5					兼4
		アカデミックスキルⅠ	1前	2			○			1	2					兼2
		アカデミックスキルⅡ	1後	2			○			1	1					兼1
		国際フィールドワークⅠ	2前		1		○				1					兼1
		国際フィールドワークⅡ	2後		1				○		1					兼1
		社会調査演習Ⅰ	3前		1				○							兼1
		社会調査演習Ⅱ	3後		1				○							兼1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1					○							兼2
		情報処理演習Ⅱ	1後	1					○	1	1					兼1
		キャリアデザインⅠ	2後		1		○				1					
		キャリアデザインⅡ	3前		1		○				1					
		地域キャリア実習Ⅰ	2前		1					○	1					休
		地域キャリア実習Ⅱ	3後		1					○	1					休
		グローバル特別演習Ⅰ	1前		1				○		1					
		グローバル特別演習Ⅱ	1後		1				○		1					
		グローバル特別演習Ⅲ	2前		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅳ	2後		1				○		1					隔年
		グローバル特別演習Ⅴ	3前		1				○			1				隔年
		グローバル特別演習Ⅵ	3後		1				○		1					隔年
小計(26科目)	—		24	14	0	—	—	10	7	0	0	0		兼8		

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習								
専門教育科目	共通専門科目群	地域経営概論	1前	2			○			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3	
		簿記論Ⅰ	1前		2			○		1						
		簿記論Ⅱ	1後		2			○		1						
		情報学入門	1前		2			○		1						
		プログラミングⅠ	1前		2			○								
		プログラミングⅡ	1後		2			○								
		経営組織論	2前		2			○		1						
		社会調査特論	2後		2			○		1	1					
		経営戦略論	2後		2			○		1						
		ガバナンス論	2前		2			○								
		介護福祉論	2後		2			○								
		マーケティング	3前		2			○			1					
		人的資源管理論	3前		2			○		1						
		非営利組織論	3後		2			○			1					
		グローバル特別講義Ⅰ	1前		2			○		1						
		グローバル特別講義Ⅱ	1後		2			○		1	1					
		グローバル特別講義Ⅲ	2前		2			○		1	1					
		グローバル特別講義Ⅳ	2後		2			○		1						
グローバル特別講義Ⅴ	2前		2			○		1								
グローバル特別講義Ⅵ	2後		2			○		1								
	小計(20科目)	—	2	38	0		—	6	3	0	0	0	隔年 隔年			
学科別専門科目群	学科共通科目	公共経営入門	1前		2			○		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		地域協働論	1後		2			○			1					
		財政学	2後		2			○			1					
		ミクロ経済学	2前		2			○			1					
		財務会計論	2前		2			○		1						
		流通システム論	2前		2			○			1					
		管理会計論	2後		2			○		1						
		マクロ経済論	2後		2			○			1					
		地域農業システム論	2後		2			○								
		ソーシャルデザイン	2後		2			○		1						
			小計(10科目)	—	0	14	0		—	3	3	0	0	0		隔年
			公共経営系推奨科目	公共政策論	2前		2			○						
	自治体政策法務	2前		2			○									
	地方自治論	3前		2			○			1						
	地方財政論	3前		2			○		1							
	地方公会計	3前		2			○		1							
	公共経営系特別講義Ⅰ	3前		2			○						隔年			
	公共経営系特別講義Ⅱ	3後		2			○			1						
	小計(7科目)	—	0	14	0		—	1	2	0	0	0	隔年			
	企業経営系推奨科目	税務会計	3後		2			○						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2		
	中小企業論	3前		2			○			1						
	企業財務論	3後		2			○									
	グローバルビジネス	3後		2			○		1							
	マーケティングリサーチ	3後		2			○			1						
	企業経営系特別講義Ⅰ	3前		2			○			1						
	企業経営系特別講義Ⅱ	3後		2			○		2	2						
	小計(7科目)	—	0	14	0		—	2	2	0	0	0	隔年			

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
交流観光系推奨科目	農業経営論	3前		2		○									兼1
	観光まちづくり論	2後		2		○			1						
	交流居住論	2後		2		○				1					
	交流観光政策論	3後		2		○			1						
	グリーンツーリズム論	3後		2		○									
	旅行業論	3前		2		○									
	交流観光系特別講義Ⅰ	3前		2		○									
	交流観光系特別講義Ⅱ	3前		2		○									
小計(8科目)		—	0	16	0	—	—	—	2	1	0	0	0	兼4	
合計(141科目)		—	32	213	0	—	—	—	10	8	0	0	0	兼39	
学位又は称号		学士(地域経営学)			学位又は学科の分野			経済学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
4年以上在学し、①～③から合計128単位以上修得すること。 ① 共通教育科目の外国語科目群から6単位(うち4単位必修)、一般教養科目群から22単位(人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位必修)、全学共通科目群から22単位(うち地域理解科目10単位必修)、計50単位修得すること。 ② 専門教育科目の演習系科目群から24単位、共通専門科目群から14単位、専門科目群の学科共通科目から30単位(うち学部共通から10単位、公共経営系推奨科目、企業経営系推奨科目、交流観光系推奨科目の中から20単位)、計68単位修得すること。 ③ ①、②の区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め10単位を修得すること。 (履修の登録の上限(1年間): 1年次40単位, 2年次44単位, 3年次46単位, 4年次46単位)							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(地域経営学部医療福祉経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○							兼2	
		English II	1後	1				○							兼2	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1			○							兼1	
		TOEIC II	3後		1			○							兼1	
		中国語 I	1前		1			○			1				兼2	
		中国語 II	1後		1			○			1				兼2	
		中国語 III	2前		1			○			1					
		中国語 IV	2後		1			○			1					
		異文化コミュニケーション	1後		1			○								兼1
小計 (11科目)		—	4	7	0	—			0	1	0	0	0	兼6		
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2		○								兼1	
		論理学	2後		2		○			1						
		心理学	2前		2		○								兼1	
		歴史学	1前		2		○								兼1	
		地理学	1後		2		○								兼1	
		教育学	1前		2		○								兼1	
		文化人類学	1前		2		○								兼1	
		多文化共生論	1前		2		○				1					
		小計 (8科目)		—	0	16	0	—			0	2	0	0	0	兼6
		社会系	法学概論	1前		2		○								兼1
日本国憲法	1前			2		○								兼1		
民法	2後			2		○								兼1		
商法	2後			2		○								兼1		
人権論	1後			2		○								兼1		
経営学入門	1前			2		○								兼1		
経済学入門	1後			2		○								兼1		
国際関係論	1後			2		○				1						
小計 (8科目)			—	0	16	0	—			0	1	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2		○								兼1		
	数学基礎 II	1後		2		○								兼1		
	線形代数基礎	1前		2		○								兼1		
	微分積分基礎	1前		2		○								兼1		
	線形代数	2後		2		○								兼1		
	微分積分	2後		2		○								兼1		
	多変量解析	2後		2		○			1							
	線形計画法	2前		2		○								兼1		
	生物学	1前		2		○								兼1		
	健康学	2後		2		○								兼1		
	環境学	1前		2		○								兼2		
	栄養学	1後		2		○								兼1		
	体育実技 I	1前		1				○						兼1		
	体育実技 II	1後		1				○						兼1		
小計 (14科目)		—	0	26	0	—			1	0	0	0	0	兼6		

オムニバス

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部医療福祉経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○									兼1	
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		行政学入門	1後		2		○									兼1	
		地域資源論	1前		2		○									兼1	
		観光総論	2前		2		○									兼1	
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○									兼1	
		地域産業論	2後		2		○									兼1	
		地域防災論	2後		2		○			1						兼1	
		観光情報学	3後		2		○									兼1	
		地域福祉論	3前		2		○			1						兼1	
	小計(11科目)	—	0	22	0	—			2	0	0	0	0		兼9		
			社会保障論	1後		2		○			1						兼1
			持続可能な社会論	2前	2			○									兼1
			社会福祉論	2前		2		○			1						兼1
			社会調査論	2前		2		○									兼1
			統計学	1前		2		○									兼1
			情報リテラシー	1前		2		○									兼1
			データサイエンス入門	1前		2		○									兼1
			経営情報システム論	2後		2		○			1						兼1
IT産業論			3前		2		○									兼1	
知的財産論			3前		2		○									兼1	
金融論	3前		2		○									兼1			
小計(11科目)	—	2	20	0	—			2	0	0	0	0		兼8			
専門教育科目	演習系科目群	地域経営演習Ⅰ	1前	1				○		2	1						
		地域経営演習Ⅱ	1後	1				○		2	1						
		地域経営演習Ⅲ	2前	2					○	3	4					兼1	
		地域経営演習Ⅳ	2後	2					○	3	4					兼1	
		地域経営研究Ⅰ	3前	2					○	3	4					兼1	
		地域経営研究Ⅱ	3後	2					○	3	4					兼1	
		卒業研究Ⅰ	4前	4					○	3	4					兼1	
		卒業研究Ⅱ	4後	4					○	3	4					兼1	
		アカデミックスキルⅠ	1前	2			○				1					兼4	
		アカデミックスキルⅡ	1後	2			○				1					兼2	
		国際フィールドワークⅠ	2前		1			○			1					兼1	
		国際フィールドワークⅡ	2後		1				○		1					兼1	
		社会調査演習Ⅰ	3前		1				○		1						
		社会調査演習Ⅱ	3後		1				○		1						
		情報処理演習Ⅰ	1前	1					○							兼1	
		情報処理演習Ⅱ	1後	1					○			1				兼2	
		キャリアデザインⅠ	2後		1			○								兼1	
		キャリアデザインⅡ	3前		1			○								兼1	
		地域キャリア実習Ⅰ	2前		1								○			兼1	
		地域キャリア実習Ⅱ	3後		1								○			兼1	
		グローバル特別演習Ⅰ	1前		1					○						兼1	
		グローバル特別演習Ⅱ	1後		1					○						兼1	
		グローバル特別演習Ⅲ	2前		1					○						兼1	
		グローバル特別演習Ⅳ	2後		1					○						兼1	
		グローバル特別演習Ⅴ	3前		1					○						兼1	
		グローバル特別演習Ⅵ	3後		1					○						兼1	
小計(26科目)	—	24	14	0	—			3	4	0	0	0		兼12			

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部医療福祉経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	共通専門科目群	地域経営概論	1前	2			○									兼1
		簿記論Ⅰ	1前		2		○									兼1
		簿記論Ⅱ	1後		2		○									兼1
		情報学入門	1前		2		○									兼1
		プログラミングⅠ	1前		2		○			1						
		プログラミングⅡ	1後		2		○			1						
		経営組織論	2前		2		○									兼1
		社会調査特論	2後		2		○									兼1
		経営戦略論	2後		2		○									兼1
		ガバナンス論	2前		2		○									兼1
		介護福祉論	2後		2		○			1						
		マーケティング	3前		2		○									兼1
		人的資源管理論	3前		2		○									兼1
		非営利組織論	3後		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅰ	1前		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅱ	1後		2		○									兼2
		グローバル特別講義Ⅲ	2前		2		○									兼2
		グローバル特別講義Ⅳ	2後		2		○			1						兼1
		グローバル特別講義Ⅴ	2前		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅵ	2後		2		○									兼1
小計(20科目)		—	2	38	0	—			2	0	0	0	0	兼10		
学科別専門科目群	解剖生理学	1前		2		○			1							
	医学概論	1前		2		○			1							
	医学英語	1前		2		○			1							
	感染症・呼吸器学	1後		2		○			1							
	血液内分泌・腫瘍学	1後		2		○			1							
	精神神経・循環器学	2前		2		○			1							
	消化器・尿生殖器学	2前		2		○			1							
	診療情報管理論	2後		2		○				1						
	医療管理論Ⅰ	2前		2		○				1						
	医療情報学	2前		2		○				1						
	診断技術論	3後		2		○									兼1	
	精神保健福祉論	2前		2		○			1							
	周産期・先天性異常学	2後		2		○			1							
	皮膚筋骨格・中毒学	2後		2		○			1							
	診療情報分類法総論	2後		2		○				1						
	医療管理論Ⅱ	2後		2		○				1						
	医療情報システム論	2後		2		○				1						
	医療統計学	2後		2		○				1						
	診療情報分類法演習	3前		2		○				1						
	医療管理論Ⅲ	3前		2		○				1						
	病院実習	3通		2		○				2						
	医療情報学特論	3前		2		○				1						
	診療情報管理演習	3前		2		○									兼1	
診療情報管理特論	3前		2		○				1					集中		
医療事務総論	4後		2		○				1							
医療福祉経営特別講義Ⅰ	3前		2		○									兼1		
医療福祉経営特別講義Ⅱ	3後		2		○									兼1		
小計(27科目)		—		54		—			2	2	0	0	0	兼3		
合計(136科目)		—				—			4	4	0	0	0	兼44		
学位又は称号	学士(地域経営学)	学位又は学科の分野				経済学関係										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
4年以上在学し、①～③から合計128単位以上修得すること。 ① 共通教育科目の外国語科目群から6単位（うち4単位必修）、一般教養科目群から22単位（人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位必修）、全学共通科目群から22単位（うち地域理解科目10単位必修）、計50単位修得すること。 ② 専門教育科目の演習系科目群から24単位、共通専門科目群から14単位、専門科目群から30単位、計68単位修得すること。 ③ ①、②の区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め10単位を修得すること。 （履修の登録の上限（1年間）：1年次40単位，2年次44単位，3年次46単位，4年次46単位）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(情報学部情報学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○							兼2	
		English II	1後	1				○							兼2	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1			○							兼1	
		TOEIC II	3後		1			○							兼1	
		中国語 I	1前		1			○							兼3	
		中国語 II	1後		1			○							兼3	
		中国語 III	2前		1			○							兼1	
		中国語 IV	2後		1			○							兼1	
		異文化コミュニケーション	1後		1			○							兼1	
		小計(11科目)		—	4	7	0	—			0	0	0	0	0	兼7
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2		○								兼1	
		論理学	2後		2		○								兼1	
		心理学	2前		2		○								兼1	
		歴史学	1前		2		○								兼1	
		地理学	1後		2		○								兼1	
		教育学	1前		2		○								兼1	
		文化人類学	1前		2		○								兼1	
		多文化共生論	1前		2		○								兼1	
		小計(8科目)		—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼8
		社会系	法学概論	1前		2		○								兼1
日本国憲法	1前			2		○								兼1		
民法	2後			2		○								兼1		
商法	2後			2		○								兼1		
人権論	1後			2		○								兼1		
経営学入門	1前			2		○								兼1		
経済学入門	1後			2		○			1							
国際関係論	1後			2		○								兼1		
小計(8科目)			—	0	16	0	—			1	0	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2		○						1				
	数学基礎 II	1後		2		○						1				
	線形代数基礎	1前		2		○				1						
	微分積分基礎	1前		2		○				1						
	線形代数	2後		2		○				1						
	微分積分	2後		2		○				1						
	多変量解析	2前		2		○				1						
	線形計画法	2前		2		○					1					
	生物学	1前		2		○								兼1		
	健康学	2後		2		○								兼1		
	環境学	1前		2		○								兼2		
	栄養学	1後		2		○								兼1		
	体育実技 I	1前		1					○					兼1		
	体育実技 II	1後		1					○					兼1		
小計(14科目)		—	0	26	0	—			0	2	1	0	0	兼4		

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○									兼1
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○			1						
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○			1						
		行政学入門	1後		2		○									兼1
		地域資源論	1前		2		○									兼1
		観光総論	2前		2		○									兼1
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○									兼1
		地域産業論	2後		2		○									兼1
		地域防災論	2後		2		○									兼2
		観光情報学	3後		2		○			1						
		地域福祉論	3前		2		○									兼1
	小計(11科目)	—		0	22	0	—		2	0	0	0	0		兼9	
	社会福祉系	社会保障論	1後		2		○									兼1
		持続可能な社会論	2前	2			○									兼1
		社会福祉論	2前		2		○									兼1
		社会調査論	2前		2		○									兼1
		統計学	1前		2		○			1						
		情報リテラシー	1前		2		○				1					
		データサイエンス入門	1前		2		○			1						
		経営情報システム論	2後		2		○									兼1
		IT産業論	3前		2		○									兼1
知的財産論		3前		2		○									兼1	
金融論	3前		2		○			1								
小計(11科目)	—		2	20	0	—		3	1	0	0	0		兼6		
専門教育科目	PBL	IT実習Ⅰ	1前	1					○						共同	
		IT実習Ⅱ	1後	1					○						共同	
		IT実習Ⅲ	2前	1						○					共同	
		IT実習Ⅳ	2後	1						○					共同	
		地域情報PBL入門	1通	2				○							共同	
		地域情報PBL基礎	2通	2				○							共同	
		地域情報PBL	3通	4				○							共同	
		地域情報プロジェクト	4通	8				○							共同	
		インターンシップ実習Ⅰ	3通		1					○						
		インターンシップ実習Ⅱ	3通		1					○						
	小計(10科目)	—		20	2	0	—		8	5	4	0	0			
	情報専門基礎	コンピュータプログラミングⅠ	1前		2			○								共同
		コンピュータプログラミングⅡ	1後		2			○								共同
		インターネット	1前		2			○								
情報学アカデミックスキル		2後			1			○								
科学技術コミュニケーション		3後			1			○								
小計(5科目)	—		6	2	0	—		3	0	2	0	0				
専門科目群	実践系	サービシエンジニアリング	1・2前		2			○								
		オープンデータ技術	1・2後		2			○								
		データ理解	1・2前		2			○								
		データマーケティング	1・2後		2			○							兼1	
	基盤系	データ解析ツール	2・3後		2			○								
		基礎データ解析	2・3後		2			○								
		統計的モデルを用いたシミュレーション	2・3後		2			○								
		データマイニング	3・4前		2			○								
	理論系	統計解析	3・4前		2			○								
		品質管理	3・4前		2			○								
		統計データモデリング	3・4後		2			○								
		データ分析と意思決定	3・4後		2			○								
小計(12科目)	—		0	24	0	—		5	1	1	0	0		兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	ICTトラック 実践系	地理情報システム	2・3前	2		○			1						
		情報ネットワーク	1・2後	2		○				1					
		組込みシステム	2・3前	2		○				1					
	ICTトラック 基盤系	情報セキュリティ	2・3前	2		○				1					
		計算機アーキテクチャ	1・2前	2		○				1					
		データベースシステム	1・2後	2		○				1					
		オペレーティングシステム	1・2後	2		○					1				
		分散システム	2・3後	2		○					1				
		プログラミング言語処理系	2・3後	2		○									兼1
	ICTトラック 理論系	信号情報処理	3・4前	2		○			1						
		数値解析	3・4後	2		○					1				
		アルゴリズム論	3・4後	2		○			1						
		グラフ理論	3・4前	2		○					1				
		論理設計	3・4前	2		○				1					
		計算理論	3・4後	2		○			1						
		情報符号理論	3・4後	2		○			1						
	小計 (16科目)	—	0	32	0	—	—	4	2	3	0	0	0	兼1	
	人間・社会情報学トラック 実践系	人工知能	1・2前	2		○			1						
		IoT	1・2後	2		○				1					
		エンタテインメント情報学	1・2前	2		○			1						
メディア情報学		1・2後	2		○				1						
ゲーム情報学		1・2後	2		○					1					
人間・社会情報学トラック 基盤系		情報システム	2・3後	2		○			1						
		ヒューマンインタフェース	2・3後	2		○			1						
		機械学習システム	2・3前	2		○			1						
人間・社会情報学トラック 理論系		パターン認識と機械学習	3・4前	2		○			1		1				共同
		画像情報処理	3・4前	2		○			1						
	音情報処理	3・4後	2		○				1						
	自然言語処理	3・4後	2		○			1							
小計 (12科目)	—	0	24	0	—	—	4	2	2	0	0	0			
合計 (118科目)			—				—	9	5	4	0	0	0	兼33	
学位又は称号		学士 (情報学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目34単位、共通教育科目の外国語科目群の選択科目から2単位、一般教養科目群人文系の選択科目から6単位、社会系の選択科目から6単位、自然系の選択科目から6単位 (ただし、*の科目から4単位を必ず修得すること) と人文系・社会系・自然系の一般教養科目群からさらに4単位、全学共通科目群の選択科目から18単位 (地域理解科目から10単位を含む)、専門科目群の選択科目から48単位 (同一トラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位を含む) を修得し、それ以外に共通教育科目および専門教育科目の中から4単位を修得すること。 (履修の登録の上限 (1年間) : 1年次40単位, 2年次44単位, 3年次46単位, 4年次46単位)							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職

学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
- (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要														
(地域情報学研究科地域情報学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究・プロジェクト科目	地域情報プロジェクト演習Ⅰ	1前	2				○		12	5	2			
	地域情報プロジェクト演習Ⅱ	1後	2				○		12	5	2			
	地域情報学特別研究Ⅰ*	2前		6			○		12	5	2			
	地域情報学特別研究Ⅱ*	2後		6			○		12	5	2			
	地域情報プロジェクト実践Ⅰ※	2前		6			○		12	5	2			
	地域情報プロジェクト実践Ⅱ※	2後		6			○		12	5	2			
	インターンシップ	1・2通		2				○	1					
	小計(7科目)	—	4	26	0			—	12	5	2	0	0	0
情報学科目	離散数学特論	1・2前		2			○			1				
	応用解析学特論	1・2後		2			○				1			
	ハイブリッドダイナミカルシステム	1・2前		2			○		1					
	集積システム設計特論	1・2後		2			○			1				
	IoTシステムハードウェア	1・2前		2			○			1				
	実証的ソフトウェア工学	1・2後		2			○				1			
	人間情報技術特論	1・2前		2			○		1					
	マルチモーダルインタラクション特論	1・2後		2			○		1					
	計算知能特論	1・2後		2			○		1					
	環境情報技術特論	1・2後		2			○		1					
	医用画像解析特論	1・2後		2			○		1					
	時系列メディア論	1・2後		2			○			1				
	小計(12科目)	—	0	24	0			—	6	4	2	0	0	0
文理融合科目	地域情報学特別講義Ⅰ	1・2前		2			○		12	5	2			オムニバス
	地域情報学特別講義Ⅱ	1・2後		2			○		12	5	2			オムニバス
	感性情報データ処理特論	1・2前		2			○			1				
	サービスエンジニアリング特論	1・2前		2			○		1					
	ベンチャー・アントレプレナーシップ論	1・2前		2			○		1					
	実践的社会調査法	1・2前		2			○							兼1
	地域医療情報システム論	1・2後		2			○		1					
	小計(7科目)	—	0	14	0			—	12	5	2	0	0	兼1
社会科学系科目	地域福祉政策論	1・2後		2			○		1					
	公共ガバナンス論	1・2前		2			○							兼1
	経営学特論	1・2後		2			○		1					
	国際文化論	1・2後		2			○		1					
	小計(4科目)	—	0	8	0			—	3	0	0	0	0	兼1
合計(30科目)		—	4	72	0			—	12	5	2	0	0	兼2
学位又は称号	修士(情報学) 修士(学術)	学位又は学科の分野			工学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
【修了要件】 2年以上在学し、研究・プロジェクト科目の必修科目4単位、情報学研究科の学生は*の12単位、地域情報プロジェクトコースの学生は※の12単位を選択必修とし、合計16単位が必修、また、情報学科目の選択科目から6単位、文理融合科目の選択科目から4単位、さらに科目群を指定せずに選択科目から4単位を含め、合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はプロジェクト実践報告書の審査及び試験に合格すること。							1学年の学期区分			2期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(地域経営学部地域経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○		1					兼1	
		English II	1後	1				○		1					兼1	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1			○			1					
		TOEIC II	3後		1			○			1					
		中国語 I	1前		1			○							兼3	
		中国語 II	1後		1			○							兼3	
		中国語 III	2前		1			○							兼1	
		中国語 IV	2後		1			○							兼1	
		異文化コミュニケーション	1後		1			○			1					
小計 (11科目)		—	4	7	0	—			1	1	0	0	0	兼6		
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2		○								兼1	
		論理学	2後		2		○								兼1	
		心理学	2前		2		○								兼1	
		歴史学	1前		2		○			1						
		地理学	1後		2		○								兼1	
		教育学	1前		2		○				1					
		文化人類学	1前		2		○			1						
		多文化共生論	1前		2		○								兼1	
		小計 (8科目)		—	0	16	0	—			2	1	0	0	0	兼5
		社会系	法学概論	1前		2		○								兼1
日本国憲法	1前			2		○								兼1		
民法	2後			2		○								兼1		
商法	2後			2		○								兼1		
人権論	1後			2		○								兼1		
経営学入門	1前			2		○				1						
経済学入門	1後			2		○								兼1		
国際関係論	1後			2		○								兼1		
小計 (8科目)			—	0	16	0	—			0	1	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2		○								兼1		
	数学基礎 II	1後		2		○								兼1		
	線形代数基礎	1前		2		○								兼1		
	微分積分基礎	1前		2		○								兼1		
	線形代数	2後		2		○								兼1		
	微分積分	2後		2		○								兼1		
	多変量解析	2後		2		○								兼1		
	線形計画法	2前		2		○								兼1		
	生物学	1前		2		○								兼1		
	健康学	2後		2		○								兼1		
	環境学	1前		2		○				1				兼1		
	栄養学	1後		2		○								兼1		
	体育実技 I	1前		1				○						兼1		
	体育実技 II	1後		1				○						兼1		
小計 (14科目)		—	0	26	0	—			1	0	0	0	0	兼6		

オムニバス

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○									
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○									
		行政学入門	1後		2		○			1						
		地域資源論	1前		2		○			1						
		観光総論	2前		2		○			1						
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○			1						
		地域産業論	2後		2		○				1					
		地域防災論	2後		2		○				1					
		観光情報学	3後		2		○									
		地域福祉論	3前		2		○									
	小計 (11科目)	—		0	22	0	—	—	5	2	0	0	0	兼4		
	演習系科目	社会保障論	1後		2		○									兼1
		持続可能な社会論	2前	2			○				1					兼1
		社会福祉論	2前		2		○				1					兼1
		社会調査論	2前		2		○									兼1
		統計学	1前		2		○									兼1
		情報リテラシー	1前		2		○									兼1
		データサイエンス入門	1前		2		○									兼1
		経営情報システム論	2後		2		○									兼1
		IT産業論	3前		2		○									兼1
知的財産論		3前		2		○									兼1	
金融論	3前		2		○									兼1		
小計 (11科目)	—		2	20	0	—	—	0	2	0	0	0	兼9			
専門教育科目	演習系科目	地域経営演習Ⅰ	1前	1				○		6	3					兼2
		地域経営演習Ⅱ	1後	1				○		6	3					兼2
		地域経営演習Ⅲ	2前	2					○	8	6					兼3
		地域経営演習Ⅳ	2後	2					○	8	6					兼3
		地域経営研究Ⅰ	3前	2						9	6					兼3
		地域経営研究Ⅱ	3後	2						9	6					兼3
		卒業研究Ⅰ	4前	4						9	5					兼4
		卒業研究Ⅱ	4後	4						9	5					兼4
		アカデミックスキルⅠ	1前	2			○			1	2					兼2
		アカデミックスキルⅡ	1後	2			○			1	1					兼1
		国際フィールドワークⅠ	2前		1			○			1					兼1
		国際フィールドワークⅡ	2後		1				○		1					兼1
		社会調査演習Ⅰ	3前		1				○							兼1
		社会調査演習Ⅱ	3後		1				○							兼1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1					○							兼2
		情報処理演習Ⅱ	1後	1					○		1	1				兼1
		キャリアデザインⅠ	2後		1			○			1	1				
		キャリアデザインⅡ	3前		1			○			1	1				
		地域キャリア実習Ⅰ	2前		1					○	1					休
		地域キャリア実習Ⅱ	3後		1					○	1					休
		グローバル特別演習Ⅰ	1前		1					○	1					
		グローバル特別演習Ⅱ	1後		1					○	1					
		グローバル特別演習Ⅲ	2前		1					○						兼1
		グローバル特別演習Ⅳ	2後		1					○						隔年
		グローバル特別演習Ⅴ	3前		1					○		1				隔年
		グローバル特別演習Ⅵ	3後		1					○						隔年
小計 (26科目)	—		24	14	0	—	—	10	7	0	0	0	兼8			

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習								
専門教育科目	共通専門科目群	地域経営概論	1前	2			○			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3	
		簿記論Ⅰ	1前		2			○		1						
		簿記論Ⅱ	1後		2			○		1						
		情報学入門	1前		2			○		1						
		プログラミングⅠ	1前		2			○								
		プログラミングⅡ	1後		2			○								
		経営組織論	2前		2			○		1						
		社会調査特論	2後		2			○		1	1					
		経営戦略論	2後		2			○		1						
		ガバナンス論	2前		2			○								
		介護福祉論	2後		2			○								
		マーケティング	3前		2			○			1					
		人的資源管理論	3前		2			○		1						
		非営利組織論	3後		2			○			1					
		グローバル特別講義Ⅰ	1前		2			○		1						
		グローバル特別講義Ⅱ	1後		2			○		1	1					
		グローバル特別講義Ⅲ	2前		2			○		1	1					
		グローバル特別講義Ⅳ	2後		2			○		1						
グローバル特別講義Ⅴ	2前		2			○		1								
グローバル特別講義Ⅵ	2後		2			○		1								
	小計(20科目)	—	2	38	0		—	6	3	0	0	0	隔年 隔年			
学科別専門科目群	学科共通科目	公共経営入門	1前		2			○		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		地域協働論	1後		2			○			1					
		財政学	2後		2			○			1					
		ミクロ経済学	2前		2			○			1					
		財務会計論	2前		2			○		1						
		流通システム論	2前		2			○			1					
		管理会計論	2後		2			○		1						
		マクロ経済論	2後		2			○			1					
		地域農業システム論	2後		2			○								
		ソーシャルデザイン	2後		2			○		1						
			小計(10科目)	—	0	14	0		—	3	3	0	0	0		隔年
			公共経営系推奨科目	公共政策論	2前		2			○						
	自治体政策法務	2前		2			○									
	地方自治論	3前		2			○			1						
	地方財政論	3前		2			○			1						
	地方公会計	3前		2			○		1							
	公共経営系特別講義Ⅰ	3前		2			○						隔年			
	公共経営系特別講義Ⅱ	3後		2			○			1						
	小計(7科目)	—	0	14	0		—	1	2	0	0	0	隔年			
	企業経営系推奨科目	税務会計	3後		2			○						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2		
	中小企業論	3前		2			○			1						
	企業財務論	3後		2			○									
	グローバルビジネス	3後		2			○		1							
	マーケティングリサーチ	3後		2			○			1						
	企業経営系特別講義Ⅰ	3前		2			○			1						
	企業経営系特別講義Ⅱ	3後		2			○		2	2						
	小計(7科目)	—	0	14	0		—	2	2	0	0	0	隔年			

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部地域経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
交流観光系推奨科目	農業経営論	3前		2		○									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼4
	観光まちづくり論	2後		2		○			1						
	交流居住論	2後		2		○				1					
	交流観光政策論	3後		2		○			1						
	グリーンツーリズム論	3後		2		○									
	旅行業論	3前		2		○									
	交流観光系特別講義Ⅰ	3前		2		○									
	交流観光系特別講義Ⅱ	3前		2		○									
小計(8科目)		—	0	16	0	—	—	—	2	1	0	0	0	兼4	
合計(141科目)		—	32	213	0	—	—	—	10	7	0	0	0	兼39	
学位又は称号		学士(地域経営学)		学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
4年以上在学し、①～③から合計128単位以上修得すること。 ① 共通教育科目の外国語科目群から6単位(うち4単位必修)、一般教養科目群から22単位(人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位必修)、全学共通科目群から22単位(うち地域理解科目10単位必修)、計50単位修得すること。 ② 専門教育科目の演習系科目群から24単位、共通専門科目群から14単位、専門科目群の学科共通科目から30単位(うち学部共通から10単位、公共経営系推奨科目、企業経営系推奨科目、交流観光系推奨科目の中から20単位)、計68単位修得すること。 ③ ①、②の区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め10単位を修得すること。 (履修の登録の上限(1年間): 1年次40単位, 2年次44単位, 3年次46単位, 4年次46単位)						1学年の学期区分		2期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(地域経営学部医療福祉経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○							兼2	
		English II	1後	1				○							兼2	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1			○							兼1	
		TOEIC II	3後		1			○							兼1	
		中国語 I	1前		1			○			1				兼2	
		中国語 II	1後		1			○			1				兼2	
		中国語 III	2前		1			○			1					
		中国語 IV	2後		1			○			1					
		異文化コミュニケーション	1後		1			○								兼1
小計 (11科目)		—	4	7	0	—			0	1	0	0	0	兼6		
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2		○								兼1	
		論理学	2後		2		○			1						
		心理学	2前		2		○								兼1	
		歴史学	1前		2		○								兼1	
		地理学	1後		2		○								兼1	
		教育学	1前		2		○								兼1	
		文化人類学	1前		2		○								兼1	
		多文化共生論	1前		2		○				1					
		小計 (8科目)		—	0	16	0	—			0	2	0	0	0	兼6
		社会系	法学概論	1前		2		○								兼1
日本国憲法	1前			2		○								兼1		
民法	2後			2		○								兼1		
商法	2後			2		○								兼1		
人権論	1後			2		○								兼1		
経営学入門	1前			2		○								兼1		
経済学入門	1後			2		○								兼1		
国際関係論	1後			2		○				1						
小計 (8科目)			—	0	16	0	—			0	1	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2		○								兼1		
	数学基礎 II	1後		2		○								兼1		
	線形代数基礎	1前		2		○								兼1		
	微分積分基礎	1前		2		○								兼1		
	線形代数	2後		2		○								兼1		
	微分積分	2後		2		○								兼1		
	多変量解析	2後		2		○			1							
	線形計画法	2前		2		○								兼1		
	生物学	1前		2		○								兼1		
	健康学	2後		2		○								兼1		
	環境学	1前		2		○								兼2		
	栄養学	1後		2		○								兼1		
	体育実技 I	1前		1				○						兼1		
	体育実技 II	1後		1				○						兼1		
小計 (14科目)		—	0	26	0	—			1	0	0	0	0	兼6		

オムニバス

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部医療福祉経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○									兼1
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		行政学入門	1後		2		○									兼1
		地域資源論	1前		2		○									兼1
		観光総論	2前		2		○									兼1
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○									兼1
		地域産業論	2後		2		○									兼1
		地域防災論	2後		2		○			1						兼1
		観光情報学	3後		2		○									兼1
		地域福祉論	3前		2		○			1						兼1
		小計(11科目)	—	0	22	0	—			2	0	0	0	0		兼9
		共通教育科目	演習系科目	社会保障論	1後		2		○			1				
持続可能な社会論	2前			2			○									兼1
社会福祉論	2前				2		○			1						兼1
社会調査論	2前				2		○									兼1
統計学	1前				2		○									兼1
情報リテラシー	1前				2		○									兼1
データサイエンス入門	1前				2		○									兼1
経営情報システム論	2後				2		○			1						兼1
IT産業論	3前				2		○									兼1
知的財産論	3前				2		○									兼1
金融論	3前				2		○									兼1
小計(11科目)	—	2	20	0	—			2	0	0	0	0		兼8		
専門教育科目	演習系科目	地域経営演習Ⅰ	1前		1			○		2	1					
		地域経営演習Ⅱ	1後		1			○		2	1					
		地域経営演習Ⅲ	2前		2			○		3	4					兼1
		地域経営演習Ⅳ	2後		2			○		3	4					兼1
		地域経営研究Ⅰ	3前		2			○		3	4					兼1
		地域経営研究Ⅱ	3後		2			○		3	4					兼1
		卒業研究Ⅰ	4前		4			○		3	4					兼1
		卒業研究Ⅱ	4後		4			○		3	4					兼1
		アカデミックスキルⅠ	1前		2		○				1					兼4
		アカデミックスキルⅡ	1後		2		○				1					兼2
		国際フィールドワークⅠ	2前		1		○				1					兼1
		国際フィールドワークⅡ	2後		1				○		1					兼1
		社会調査演習Ⅰ	3前		1			○			1					
		社会調査演習Ⅱ	3後		1			○			1					
		情報処理演習Ⅰ	1前	1				○								兼1
		情報処理演習Ⅱ	1後	1				○			1					兼2
		キャリアデザインⅠ	2後		1		○									兼1
		キャリアデザインⅡ	3前		1		○									兼1
		地域キャリア実習Ⅰ	2前		1				○							兼1
		地域キャリア実習Ⅱ	3後		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅰ	1前		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅱ	1後		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅲ	2前		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅳ	2後		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅴ	3前		1				○							兼1
		グローバル特別演習Ⅵ	3後		1				○							兼1
小計(26科目)	—	24	14	0	—			3	4	0	0	0		兼12		

教 育 課 程 等 の 概 要

(地域経営学部医療福祉経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	共通専門科目群	地域経営概論	1前	2			○									兼1
		簿記論Ⅰ	1前		2		○									兼1
		簿記論Ⅱ	1後		2		○									兼1
		情報学入門	1前		2		○									兼1
		プログラミングⅠ	1前		2		○			1						
		プログラミングⅡ	1後		2		○			1						
		経営組織論	2前		2		○									兼1
		社会調査特論	2後		2		○									兼1
		経営戦略論	2後		2		○									兼1
		ガバナンス論	2前		2		○									兼1
		介護福祉論	2後		2		○			1						
		マーケティング	3前		2		○									兼1
		人的資源管理論	3前		2		○									兼1
		非営利組織論	3後		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅰ	1前		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅱ	1後		2		○									兼2
		グローバル特別講義Ⅲ	2前		2		○									兼2
		グローバル特別講義Ⅳ	2後		2		○			1						兼1
		グローバル特別講義Ⅴ	2前		2		○									兼1
		グローバル特別講義Ⅵ	2後		2		○									兼1
小計 (20科目)		—	2	38	0	—			2	0	0	0	0	兼10		
学科別専門科目群	解剖生理学	1前		2		○			1							
	医学概論	1前		2		○			1							
	医学英語	1前		2		○			1							
	感染症・呼吸器学	1後		2		○			1							
	血液内分泌・腫瘍学	1後		2		○			1							
	精神神経・循環器学	2前		2		○			1							
	消化器・尿生殖器学	2前		2		○			1							
	診療情報管理論	2後		2		○				1						
	医療管理論Ⅰ	2前		2		○				1						
	医療情報学	2前		2		○				1						
	診断技術論	3後		2		○									兼1	
	精神保健福祉論	2前		2		○			1							
	周産期・先天性異常学	2後		2		○			1							
	皮膚筋骨格・中毒学	2後		2		○			1							
	診療情報分類法総論	2後		2		○				1						
	医療管理論Ⅱ	2後		2		○				1						
	医療情報システム論	2後		2		○				1						
	医療統計学	2後		2		○				1						
	診療情報分類法演習	3前		2		○				1						
	医療管理論Ⅲ	3前		2		○				1						
	病院実習	3通		2		○				2						
	医療情報学特論	3前		2		○				1						
	診療情報管理演習	3前		2		○									兼1	
診療情報管理特論	3前		2		○				1					集中		
医療事務総論	4後		2		○				1							
医療福祉経営特別講義Ⅰ	3前		2		○									兼1		
医療福祉経営特別講義Ⅱ	3後		2		○									兼1		
小計 (27科目)		—		54		—			2	2	0	0	0	兼3		
合計 (136科目)		—				—			4	4	0	0	0	兼44		
学位又は称号	学士 (地域経営学)	学位又は学科の分野				経済学関係										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
4年以上在学し、①～③から合計128単位以上修得すること。 ① 共通教育科目の外国語科目群から6単位（うち4単位必修）、一般教養科目群から22単位（人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位必修）、全学共通科目群から22単位（うち地域理解科目10単位必修）、計50単位修得すること。 ② 専門教育科目の演習系科目群から24単位、共通専門科目群から14単位、専門科目群から30単位、計68単位修得すること。 ③ ①、②の区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め10単位を修得すること。 （履修の登録の上限（1年間）：1年次40単位，2年次44単位，3年次46単位，4年次46単位）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要																
(情報学部情報学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語科目群	English I	1前	1				○							兼2	
		English II	1後	1				○							兼2	
		English III	2前	1				○							兼2	
		English IV	2後	1				○							兼2	
		TOEIC I	3前		1			○							兼1	
		TOEIC II	3後		1			○							兼1	
		中国語 I	1前		1			○							兼3	
		中国語 II	1後		1			○							兼3	
		中国語 III	2前		1			○							兼1	
		中国語 IV	2後		1			○							兼1	
		異文化コミュニケーション	1後		1			○							兼1	
		小計 (11科目)		—	4	7	0	—			0	0	0	0	0	兼7
一般教養科目群	人文系	哲学	1後		2		○								兼1	
		論理学	2後		2		○								兼1	
		心理学	2前		2		○								兼1	
		歴史学	1前		2		○								兼1	
		地理学	1後		2		○								兼1	
		教育学	1前		2		○								兼1	
		文化人類学	1前		2		○								兼1	
		多文化共生論	1前		2		○								兼1	
		小計 (8科目)		—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼8
		社会系	法学概論	1前		2		○								兼1
日本国憲法	1前			2		○								兼1		
民法	2後			2		○								兼1		
商法	2後			2		○								兼1		
人権論	1後			2		○								兼1		
経営学入門	1前			2		○								兼1		
経済学入門	1後			2		○			1							
国際関係論	1後			2		○								兼1		
小計 (8科目)			—	0	16	0	—			1	0	0	0	0	兼5	
自然系	数学基礎 I	1前		2		○										
	数学基礎 II	1後		2		○										
	線形代数基礎	1前		2		○										
	微分積分基礎	1前		2		○										
	線形代数	2後		2		○										
	微分積分	2後		2		○										
	多変量解析	2前		2		○										
	線形計画法	2前		2		○										
	生物学	1前		2		○								兼1		
	健康学	2後		2		○								兼1		
	環境学	1前		2		○								兼2		
	栄養学	1後		2		○								兼1		
	体育実技 I	1前		1										兼1		
	体育実技 II	1後		1										兼1		
小計 (14科目)		—	0	26	0	—			0	2	1	0	0	兼4		

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	地域理解科目	地域文化論	1前		2		○									兼1	
		地域情報学Ⅰ	1前		2		○			1							
		地域情報学Ⅱ	1後		2		○			1							
		行政学入門	1後		2		○									兼1	
		地域資源論	1前		2		○									兼1	
		観光総論	2前		2		○									兼1	
		地域ベンチャー育成論	2前		2		○									兼1	
		地域産業論	2後		2		○									兼1	
		地域防災論	2後		2		○									兼2	
		観光情報学	3後		2		○			1							
		地域福祉論	3前		2		○									兼1	
	小計(11科目)	—	0	22	0	—			2	0	0	0	0		兼9		
		社会保障論	1後		2		○									兼1	
		持続可能な社会論	2前	2			○									兼1	
		社会福祉論	2前		2		○									兼1	
		社会調査論	2前		2		○									兼1	
		統計学	1前		2		○			1							
		情報リテラシー	1前		2		○				1						
		データサイエンス入門	1前		2		○			1							
		経営情報システム論	2後		2		○									兼1	
		IT産業論	3前		2		○									兼1	
知的財産論		3前		2		○									兼1		
金融論	3前		2		○			1									
小計(11科目)	—	2	20	0	—			3	1	0	0	0		兼6			
専門教育科目	PBL	IT実習Ⅰ	1前	1					○						共同		
		IT実習Ⅱ	1後	1					○						共同		
		IT実習Ⅲ	2前	1					○						共同		
		IT実習Ⅳ	2後	1					○						共同		
		地域情報PBL入門	1通	2				○		8	5	4			共同		
		地域情報PBL基礎	2通	2				○		8	5	4			共同		
		地域情報PBL	3通	4				○		8	5	4			共同		
		地域情報プロジェクト	4通	8				○		8	5	4			共同		
		インターンシップ実習Ⅰ	3通		1					1							
		インターンシップ実習Ⅱ	3通		1					1							
	小計(10科目)	—	20	2	0	—			8	5	4	0	0				
	情報専門基礎	コンピュータプログラミングⅠ	1前		2			○		1		1				共同	
		コンピュータプログラミングⅡ	1後		2			○		1		1				共同	
		インターネット	1前		2			○				1					
情報学アカデミックスキル		2後			1			○	1								
科学技術コミュニケーション		3後			1			○	1								
小計(5科目)	—	6	2	0	—			3	0	2	0	0					
専門科目群	実践系	サービエンジニアリング	1・2前		2			○									
		オープンデータ技術	1・2後		2			○									
		データ理解	1・2前		2			○			1						
		データマーケティング	1・2後		2			○								兼1	
	基盤系	データ解析ツール	2・3後		2				○								
		基礎データ解析	2・3後		2				○		1						
		統計的モデルを用いたシミュレーション	2・3後		2				○		1						
		データマイニング	3・4前		2				○		1						
	理論系	統計解析	3・4前		2				○		1						
		品質管理	3・4前		2				○			1					
		統計データモデリング	3・4後		2				○		1						
		データ分析と意思決定	3・4後		2				○		1						
小計(12科目)	—	0	24	0	—			5	1	1	0	0		兼1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	ICTトラック 実践系	地理情報システム	2・3前	2		○			1						
		情報ネットワーク	1・2後	2		○				1					
		組込みシステム	2・3前	2		○				1					
	ICTトラック 基盤系	情報セキュリティ	2・3前	2		○				1					
		計算機アーキテクチャ	1・2前	2		○				1					
		データベースシステム	1・2後	2		○				1					
		オペレーティングシステム	1・2後	2		○					1				
		分散システム	2・3後	2		○					1				
		プログラミング言語処理系	2・3後	2		○									兼1
	ICTトラック 理論系	信号情報処理	3・4前	2		○			1						
		数値解析	3・4後	2		○					1				
		アルゴリズム論	3・4後	2		○			1						
		グラフ理論	3・4前	2		○					1				
		論理設計	3・4前	2		○				1					
		計算理論	3・4後	2		○			1						
		情報符号理論	3・4後	2		○			1						
	小計 (16科目)	—	0	32	0	—	—	4	2	3	0	0	0	兼1	
	人間・社会情報学トラック 実践系	人工知能	1・2前	2		○			1						
		IoT	1・2後	2		○				1					
		エンタテインメント情報学	1・2前	2		○			1						
メディア情報学		1・2後	2		○				1						
ゲーム情報学		1・2後	2		○					1					
人間・社会情報学トラック 基盤系		情報システム	2・3後	2		○			1						
		ヒューマンインタフェース	2・3後	2		○			1						
		機械学習システム	2・3前	2		○			1						
人間・社会情報学トラック 理論系		パターン認識と機械学習	3・4前	2		○			1		1				共同
		画像情報処理	3・4前	2		○			1						
	音情報処理	3・4後	2		○				1						
	自然言語処理	3・4後	2		○			1							
小計 (12科目)	—	0	24	0	—	—	4	2	2	0	0	0			
合計 (118科目)			—				—	9	5	4	0	0	0	兼33	
学位又は称号		学士 (情報学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目34単位、共通教育科目の外国語科目群の選択科目から2単位、一般教養科目群人文系の選択科目から6単位、社会系の選択科目から6単位、自然系の選択科目から6単位 (ただし、*の科目から4単位を必ず修得すること) と人文系・社会系・自然系の一般教養科目群からさらに4単位、全学共通科目群の選択科目から18単位 (地域理解科目から10単位を含む)、専門科目群の選択科目から48単位 (同一トラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位を含む) を修得し、それ以外に共通教育科目および専門教育科目の中から4単位を修得すること。 (履修の登録の上限 (1年間) : 1年次40単位, 2年次44単位, 3年次46単位, 4年次46単位)							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職

学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
- (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

授 業 科 目 の 概 要			
(地域情報学研究科地域情報学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究・プロジェクト科目	地域情報プロジェクト演習I	<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、文献調査、フィールド調査、当該分野の専門的な基盤技術の修得、課題発見、解決案の提示と設計、PoC (Proof of Concept) のためのプロトタイプ開発および評価のプロセスを通して、情報学の各分野における研究のための専門的能力とともに、技術を地域社会へ適用するプロジェクト実践のための能力の基盤を築く。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p> <p>(3 畠中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p> <p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像処理アルゴリズム構築に関する研究を指導する。</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p> <p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う。</p>	

	<p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 畠中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p> <p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
地域情報プロジェクト演習Ⅱ	<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、文献調査、フィールド調査、当該分野の専門的な基盤技術の修得、課題発見、解決案の提示と設計、PoC (Proof of Concept) のためのプロトタイプ開発および評価のプロセスを通して、情報学の各分野における研究のための専門的能力とともに、技術を地域社会へ適用するプロジェクト実践のための能力の基盤を築く。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p> <p>(3 畠中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p> <p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p>	

	<p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う。</p> <p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 畠中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p> <p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
地域情報学特別研究I	<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、当該分野の最先端技術にかかる文献調査、研究課題発見とその深化、研究テーマの確立とその実現手法および方法論の構築、システム設計、実装および評価のプロセスを通して、地域社会に貢献できる情報学の各分野における専門的研究開発を行う。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p> <p>(3 畠中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p>	

		<p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像処理アルゴリズム構築に関する研究を指導する。</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p> <p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う。</p> <p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 畠中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p> <p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
	地域情報学特別研究Ⅱ	<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、当該分野の最先端技術にかかる文献調査、研究課題発見とその深化、研究テーマの確立とその実現手法および方法論の構築、システム設計、実装および評価のプロセスを通して、地域社会に貢献できる情報学の各分野における専門的研究開発を行う。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p>	

	<p>(3 畠中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p> <p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像処理アルゴリズム構築に関する研究を指導する。</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p> <p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う。</p> <p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 畠中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p> <p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
--	--	--

<p>地域情報プロジェクト実践I</p>	<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、フィールド調査、地域の課題発見とその分析、地域と連携した課題解決のためのアイデアの検討、解決案の提示と設計、システム開発および初期評価、フィールドへの適用と実践による課題解決の各プロセスを通して、地域の諸課題を解決するための情報技術を地域社会へ適用するプロジェクトを実践する。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p> <p>(3 島中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p> <p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像処理アルゴリズム構築に関する研究を指導する。</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p> <p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う</p> <p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 島中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p>	
----------------------	--	--

		<p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
地域情報プロジェクト実践Ⅱ		<p>指導教員の指導の下、数理・データサイエンス、情報通信技術、人間・社会情報学など情報学の諸分野における様々な具体的テーマに基づいて、フィールド調査、地域の課題発見とその分析、地域と連携した課題解決のためのアイデアの検討、解決案の提示と設計、システム開発および初期評価、フィールドへの適用と実践による課題解決の各プロセスを通して、地域の諸課題を解決するための情報技術を地域社会へ適用するプロジェクトを実践する。</p> <p>(1 岡本 悦司) 地域医療の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(2 池野 英利) 樹木根系モデルの開発、根の成長、枯死の過程の観測システム、昆虫の行動計測システムの開発など、生物科学分野における計測、情報処理に関する研究を指導する。</p> <p>(3 畠中 利治) 進化計算のアルゴリズム開発およびその理論的側面についての研究指導を行う。</p> <p>(4 川島 典子) 地域福祉の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(5 亀井 省吾) ベンチャービジネスの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(6 山本 吉伸) リモートサービスや先端的ヒューマンインタフェースの実験的研究または理論的研究を指導する。</p> <p>(7 渋谷 節子) 国際文化の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(8 松山 江里) コンピュータ支援診断システムおよび、それらを支える画像処理アルゴリズム構築に関する研究を指導する。</p> <p>(9 森 禎弘) システムの解析・制御アルゴリズムの開発およびその理論的側面について研究指導を行う。</p> <p>(10 鄭 年皓) 経営学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(11 倉本 到) インタラクティブシステムやエージェント・ロボットなどの対話システムの諸課題に関する研究を指導する。</p>	

		<p>(12 黄 宏軒) 仮想エージェント、対話ロボットの応用システムの開発とそれらを高度化するためのマルチモーダル機械学習手法に関する研究の指導を行う。</p> <p>(13 崔 童殷) 感性情報データの計測・処理法及び感性評価システム開発などの諸課題に関する研究を指導する。</p> <p>(14 畠中 理英) 安全で高品質なホームネットワークシステムの構築に関する研究を指導する。</p> <p>(15 橋田 光代) 時系列メディアの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(16 衣川 昌宏) IoTシステムの立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(17 渡邊 扇之介) 数理（離散数学）の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴) ソフトウェア工学の立場から研究指導と助言を行う。</p> <p>(19 前田 一貴) 数学（解析学）の立場から研究指導と助言を行う。</p>	
	インターンシップ	<p>企業などの実践の場における実習、研修活動を体験することにより、地域情報学研究科が目指す情報技術の地域への実践に関する本質的な知見である、講義等で学んだ知識と実際の業務との関係性や、知識を業務に適用する実践的な方法論や手法を現場の観点から学ぶ。実践はおおむね1週間以上の期間とし、単なる企業紹介を受けるだけにとどまらず、実際の企業活動に参画することで得られる経験により、地域に根差したプロジェクト・研究を実施するための素養を涵養する。</p>	
情報 学 科 目	離散数学特論	<p>実社会における様々な問題に対して最適な計画や戦略を考えるときに、その問題や計画、何をもって最適とするかの判断、そしてその解決法を数学的に捉えることが重要である。本講義では、意思の決定や経路の選択、輸送の計画へ応用される離散最適化問題の代表例であるグラフ上のネットワーク最適化問題を扱う。具体的には、マッチング問題、最短経路問題、最大流問題、最小費用流問題について、その問題の解説と解法について講義を行う。また、グラフ上のネットワーク最適化問題は線形計画問題として定式化でき、有名なシンプレックス法を用いることで統一的に解くことができる。講義では定式化手法を解説し、計算機による解の導出を行う。さらに、最短経路問題に対してはMin-Plus代数と呼ばれる特殊な代数を用いた別解釈についても講義する。</p>	
	応用解析学特論	<p>情報学の様々な応用の裏には計算があり、一見すると数学が関係なさそうな技術でもその実現のためには高度な数学に基づいた膨大な計算が行われていることがある。その中でもメディアデータ処理や信号処理の際の離散フーリエ変換は典型的であろう。フーリエ変換は三角関数の直交性に基づくものであるが、三角関数以外にも直交性をもつ関数系を考えることができ、様々な応用がある。</p> <p>この講義では、数ベクトルの内積と直交性の復習およびその一般化から始めて、関数への内積の一般化を行い、その後具体的な直交関数系の例とそこから広がる理論体系の概要および応用について述べる。特に前半はフーリエ解析やウェーブレット解析の概要と応用を述べ、後半は直交多項式の理論の概要と応用を述べる。</p>	

<p>ハイブリッド ダイナミカルシステム</p>	<p>社会システム、経済システムなどの現象やロボット、生命などの物理対象がどのように振舞うか、そしてどのように制御すればより好ましい振る舞いをするかを考えるとき、それらをダイナミカルシステムとして捉えて考えることが行われる。本講義では、システムの振る舞いが連続値と離散値の両方を用いて表現されるハイブリッドダイナミカルシステム(HDS)を対象とする。計算機システムを用いてシステムを制御する組込み制御システムは、その一例である。HDSの解析・設計法を学ぶことで、様々な現象や物理対象に関する問題を扱うことができるようになる。HDSでは、条件によってその振る舞いを記述する微分方程式が切り替わる。条件を表す論理式および微分方程式で表現されたシステムを対象とし、その解析法と制御法について学ぶ。</p>	
<p>集積システム設計特論</p>	<p>現在、パソコン、テレビ、スマートフォンなどの情報家電だけでなく、エアコン、冷蔵庫や炊飯器などの白物家電、自動車や電車などの輸送機器など身の回りにある様々な機器に集積(デジタル)回路が利用されている。そこで、本講義では集積回路の基本構成や設計について解説する。特に、その応用である無線通信におけるベースバンド処理などに特化して、そのアルゴリズムやその集積回路設計について述べる。また、組込みシステムのシステム構成についても述べる。</p>	
<p>IoTシステムハードウェア</p>	<p>IoT機器はネットワークで協調動作をすると共に、各種センサからの情報入力、電気信号の出力、およびアクチュエータによる物理的な動作としての出力を行うことができる。これら機能は既存の部品を組み合わせて実現しており、これがIoT機器の設計時間の短縮ならびに信頼性の向上につながっている。本科目では、このIoT機器を構成するハードウェア、とりわけ電子回路に着目し、既存部品の組み合わせでどのようにIoT機器を構築するのかを講義する。また、それらハードウェアを制御するOSについても解説する。</p>	
<p>実証的ソフトウェア工学</p>	<p>ソフトウェア工学とは、高品質なソフトウェアを期限内、予算内に開発し、また保守するための科学的アプローチを考える分野である。実証的ソフトウェア工学とはソフトウェア工学の一分野であり、ソフトウェア開発に関するデータの収集を行い、その定量的・定性的分析を行って、ソフトウェアの品質や生産性の改善を行う。本講義では、ソフトウェア開発に関するデータとはどのようなものがあるか、また、それがどのようにソフトウェア開発を明らかにしていくのかについて実際の論文を紹介し、実証的ソフトウェア工学の考え方について学ぶ。</p>	
<p>人間情報技術特論</p>	<p>人間社会にコンピュータが浸透して久しい昨今、計算能力や計算技術を適切に人間に使ってもらうための方法論や技術開発も進んでいる。本講義では、人間とコンピュータの関係性に着目し、インタラクティブシステム・ヒューマンコンピュータインタラクションの諸分野における先端技術やその設計論、設計思想などを、研究論文などを引きながら学ぶ。さらに、それらの仕組みの適切性を評価する手法であるユーザビリティ評価の理論と実践を、実際にインタラクティブな機器やソフトウェアの評価を行いながら学ぶ。</p>	
<p>マルチモーダル インタラクション特論</p>	<p>人と人がコミュニケーションを取る際は、言語情報の言葉だけではなく、顔の表情や身振り手振り、声の抑揚などの非言語情報も活用しており、こちらの方が重要な役割を担っている場面も少なからず存在する。こうした一つ一つの情報伝達手段をモダリティとよぶ。主に対話ロボットや擬人化仮想エージェントと利用者の人間のコミュニケーションにおいて、人間側の行動識別と人工物側の行動生成に複数のモダリティを用いたインタラクションを可能にするマルチモーダルインタラクションの研究分野は深層学習技術により飛躍的な進歩を遂げており近年注目を集めている。本講義はマルチモーダル機械学習を中心に、それに纏わる基礎知識と応用分野を概観的に紹介する。授業中は講義の他、特定の話題についてグループディスカッションとその結果のプレゼンテーション、期末に個人での調査発表会を予定している。</p>	

	計算知能特論	計算知能 (Computational Intelligence:CI) は、ヒトや生き物の進化を含むさまざまな振舞いに着想を得て構成された学習、適応と問題解決のための計算モデルの総称である。本講義では、まず、計算知能の概念を理解するために必要な数学のバックグラウンドを説明する。さらに、この分野を構成する代表的な手法として、強化学習、進化計算およびニューラルネットワークについて、その原理と計算方法を講述するとともに、それらの応用方法・事例を述べる。また、これらを要素技術とした最新の文献を購読するとともに、演習を通じてアルゴリズムとその応用に関する理解を深める。	
	環境情報技術特論	昆虫を中心に動物の行動、生理、生態特性を計測する技術及び樹木をはじめとする植物の分布、構造、生理特性を計測する技術を教授する。さらに、このような調査、実験によって得られるデータを例として、必要となる情報処理技術について修得を進めるとともに、得られた知見を自然環境保全、生物多様性の維持、地域防災に活かす活動について理解を深める。	
	医用画像解析特論	医用画像は、人体内部の様々な物理的・生理的パラメータ分布を表す計測データである。近年、医用画像の撮像モダリティの急速な発展（複雑化・高精細化）により、医用画像解析の重要性が高まっている。本講義では、放射線医学領域に適用されている放射線技術、医用画像処理・解析、機械学習、人工Neural Networkの原理および畳み込みニューラルネットワーク (Convolutional Neural Network:CNN) への拡張・応用など、イメージングの物理と数理に着目した画像解析法を論じる。さらに、コンピュータ支援診断(Computed aided diagnosis:CAD)システム、機械学習に基づく新しい研究展開など、応用システムや学問的波及効果についても触れる。	
	時系列メディア論	情報学的アプローチによる音楽や映像、舞踊をはじめとするメディアコンテンツの研究に際し必須となる理論や手法について、とくに時系列上で「動く」という観点における表層的視点・認知心理的視点から学ぶ。はじめに①時間に対する物理的側面と認知的側面に関する基礎的理論、②「動き」に関する様々な芸術表現技法の特性に触れる。その後、とくに時間芸術とも呼ばれる音楽分野において展開されている認知的音楽理論 (GTTM) を手がかりとして、表現者・鑑賞者それぞれの立場から、作品における演出技法を計算機上で形式的に構造記述する手法 (EMDA/DEEM) について検討・議論する。	
文理融合科目	地域情報学特別講義I	本講義では、修士学位を持つ研究者として活動するために必須となる、工学倫理及び研究者倫理に関する事例を学ぶことでその素養を涵養する。さらに、地域情報学における幅広い知識分野である情報学分野・社会科学分野・文理融合分野を俯瞰し、それらの分野の全体像と個々の様相について、地域情報学研究科に所属する教員からオムニバスのように学ぶことにより、地域に根差した情報学の実践にかかる基礎素養を涵養する。 (オムニバス方式/全15回) (11 倉本 到/3回) 工学者が持つべき素養としての倫理指針である、公共の安全・説明責任・他者との立場の違いに起因する関係性を学ぶ。 (11 倉本 到/3回) 研究者が持つべき素養としての倫理指針である、公正な研究のありかた・利害関係と研究・研究倫理と一般的な倫理の関係性について学ぶ。 (1 岡本 悦司、2 池野 英利、3 畠中 利治、4 川島 典子、5 亀井 省吾、6 山本 吉伸、7 渋谷 節子、8 松山 江里、9 森 禎弘、10 鄭 年皓、11 倉本 到、12 黄 宏軒、13 崔 童殷、14 畠中 理英、15 橋田 光代、16 衣川 昌宏、17 渡邊 扇之介、18 眞鍋 雄貴、19 前田 一貴/2回) 情報学の知識を実践的に地域に適用することを目指す地域情報学の包含する諸分野を説明し、その全体像を俯瞰する。	オムニバス

	<p>(11 倉本 到/1回) 情報学分野である人間情報工学分野について紹介する。</p> <p>(16 衣川 昌宏/1回) 情報学分野であるIoT技術分野について紹介する。</p> <p>(9 森 禎弘/1回) 情報学分野である制御工学分野について紹介する。</p> <p>(13 崔 童殷/1回) 文理融合分野である感性工学分野について紹介する。</p> <p>(4 川島 典子/1回) 地域経営学分野である地域福祉分野について紹介する。</p> <p>(7 渋谷 節子/1回) 地域経営学分野である国際文化論について紹介する。</p> <p>(1 岡本悦司、2 池野英利、3 畠中利治、4 川島典子、5 亀井省吾、6 山本吉伸、7 渋谷節子、8 松山江里、9 森禎弘、10 鄭年皓、11 倉本 到、12 黄 宏軒、13 崔童殷、14 畠中理英、15 橋田光代、16 衣川昌宏、17 渡邊扇之介、18 眞鍋雄貴、19 前田一貴/1回) ここまで学んできた内容について受講者間で議論し理解を深める。</p>	
地域情報学特別講義II	<p>本講義では、情報学の諸分野（数理・データサイエンス分野、情報基盤技術分野、人間・社会情報学分野）の研究開発の現状に関する基礎的知識、地域実践にかかる社会科学諸分野（社会科学一般、観光・公共分野、起業・経営に関する分野、経営学）の基盤知識および地域での活動において重要な文理融合分野（サービス工学、医療福祉分野）を、地域情報学研究科に所属する教員からオムニバスのように学ぶことにより、地域に根差した情報学の実践にかかる基礎素養を涵養する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(3 畠中 利治/1回) 数理・データサイエンス分野である計算知能工学分野について紹介する。</p> <p>(19 前田 一貴/1回) 数理・データサイエンス分野である解析学を主とした数学分野について紹介する。</p> <p>(17 渡邊 扇之介/1回) 数理・データサイエンス分野である離散数学分野について紹介する。</p> <p>(14 畠中 理英/1回) 情報基盤技術分野である集積システムについて紹介する。</p> <p>(18 眞鍋 雄貴/1回) 情報基盤技術分野であるソフトウェア工学について紹介する。</p> <p>(8 松山 江里/1回) 情報基盤技術分野である医用画像情報処理について紹介する。</p> <p>(12 黄 宏軒/1回) 人間・社会情報学分野であるマルチモーダルインタラクションについて紹介する。</p> <p>(15 橋田 光代/1回) 人間・社会情報学分野である時系列メディアについて紹介する。</p>	オムニバス

		<p>(2 池野 英利／1回) 人間・社会情報学分野である環境情報工学分野について紹介する。</p> <p>(6 山本 吉伸／1回) 文理融合分野であるサービス工学について紹介する。</p> <p>(1 岡本 悦司／1回) 社会科学分野である地域医療システムについて紹介する。</p> <p>(5 亀井 省吾／1回) 文理融合分野であるベンチャービジネス論について紹介する。</p> <p>(10 鄭 年皓／1回) 社会科学分野である経営学について紹介する。</p> <p>(1 岡本 悦司、2 池野 英利、3 畠中 利治、4 川島 典子、5 亀井 省吾、6 山本 吉伸、7 渋谷 節子、8 松山 江里、9 森 禎弘、10 鄭 年皓、11 倉本 到、12 黄 宏軒、13 崔 童殷、14 畠中 理英、15 橋田 光代、16 衣川 昌宏、17 渡邊 扇之介、18 眞鍋 雄貴、19 前田 一貴／2回)</p> <p>第14回以降は、ここまで学んできた内容について受講者間で議論し理解を深めるとともに、その議論を全参加者に共有してさらなる理解の深化を図る。</p>	
感性情報データ処理特論		<p>人にやさしい人工知能技術が様々な分野で要求されている中、直観・イメージ・感性といった主観的な情報を扱おうとする感性情報データ処理能力の重要性が高まっている。本講義では、感覚・感性情報の計測法と感性情報データ解析の手法を学ぶとともにこれらの感性情報データ処理を取り上げた学術論文から研究事例を交えて学習する。まず人間の五感を通して得られた主観的な感覚情報をどのように計測や評価するのか、その手法について理解を深めるとともに人間の知覚や脳機能などについて解説する。感性計測においては、官能検査（定性的）、生理データ計測（脳波、筋電、心電など）、センサなどによる感覚データ計測手法について学ぶ。また、これらの計測法から得られた感覚・感性情報データを解析するために、主成分分析、因子分析、判別分析、回帰分析、クラスタ分析などの多次元データ解析手法（多変量解析）や機械学習法を修得する。</p>	
サービスエンジニアリング特論		<p>本講座では地域社会におけるサービスビジネスの生産性向上技術を実践的に学ぶ。特に共創の概念に基づいた新たなアプローチについて中心的に取り扱う。授業内では座学による知識の増強だけでなく、将来的に活用できるサービス工学上の技術の習得とサービスの構築および運用の実践的理解のために、pythonとJavaScriptを用いての小規模なプログラム作成にも取り組む。</p> <p>さらに、現実にサービスビジネスの提供者または顧客としてプロジェクトに参加することも含め、作成したプログラムやその発展形を用いたミニプロジェクトを実施し、その成果発表を行う。</p>	
ベンチャー・アントレプレナーシップ論		<p>アントレプレナーには、事業開始に際してのビジョンと課題解決のためのイノベティブなアイデアが求められる。イノベーションを創造するために必要な知識と手法を学ぶとともに、アイデアを具体化するプロセスを、座学、ケーススタディ、グループワーク、起業家とのディスカッションなどを通じ実践的に修得することを目指す。加えて、不確実性の高い事業環境下でベンチャー企業が進化し続けるための仕組みをイノベーション戦略から考察すると共に、事業計画策定に必要な企業財務の基礎、企業価値評価などの知識を学修する。</p>	

	実践的社会調査法	フィールド研究に関する修士論文を書く際、客観的な結果を量的に示そうと「とりあえずアンケートでも……」とか、一つの事例を質的に考察しようと「まずはヒアリングをしてみよう……」といった形で、研究方法（手法）を選んではないか。本講義では、災害（東日本大震災、熊本地震、南海トラフ巨大地震等）に関連したフィールド研究の事例から、①量的・質的調査の特徴や具体的な手法の利点や欠点を踏まえた上で適切な研究方法を選べるようになること、②調査がもたらすフィールドへの影響を踏まえた文理融合・課題解決型の研究を構想できるようになることを目指す。	
	地域医療情報システム論	医療に関するビッグデータを、データウェアハウス(DWH)化することによって医療圏や市町村といった地域レベルで医療提供状態を分析する技能を習得する。能動的学習をとるため教育方法は講義だけでなくPC演習も取り入れる。扱うデータは、厚生局が提供する医療機関コードと施設基準、都道府県が提供する病床機能報告、国が提供するDPC(診断群分類)病院データとNDB(レセプト特定健診ナショナルデータベース)オープンデータ、市町村が提供するがん検診データ、全国健康保険協会が提供するレセプト集計データ、そして日本医療データセンター(JMDC)社が提供するレセプト個票データである。受講者はこれらビッグデータを自らDWHに加工し、地域医療の実相をエビデンスによって明らかにしてゆく。	
社会科学系科目	地域福祉政策論	社会福祉の各論を分野横断的に網羅する地域福祉の目的は、地域に在住する人々の幸せの実現にある。そのためには、地域の課題を把握する必要がある。本講義では、まず、社会福祉や地域福祉の概念とそれらを支える制度政策や、社会福祉協議会及びNPO等の民間の団体の役割等の地域福祉に関する基礎的な知識を学ぶ。その上で、地域課題を社会調査(量的調査・質的調査)によって把握する方法を学習し、実際に情報学によるアプローチ、例えば、独居高齢者の支援を行うための双方向性の対話機能をもった小型ロボット、人口減少社会において枯渇する専門職の役割を代行するAI、および要援護者が誰ひとり取り残されない防災のための機器などによる、地域福祉的課題を解決する方法を共に考えていきたい。	
	公共ガバナンス論	人口減少や少子高齢化、東京一極集中など、地方自治体を取り巻く問題は、抜本的な解決に至っていない現状がある。政府は、地域の特性に応じて公共サービスが提供されるよう、分権化を進めてきた。わが国地方自治体において自治体内分権を志向する諸制度が設計・運用され、地域が有する経営資源を活用し、地域の特性を踏まえた独自の公共経営が行われている。 本授業では、行政管理、行政経営、公共ガバナンスといった行政・公共サービスの提供体制と理論について、その変遷を俯瞰する。さらに、公共ガバナンスのあり方に焦点を当て、地域づくり組織の課題と改善策を考察する。具体的な公共ガバナンスの事例を示しつつ、自治会、NPO、大学といった多様なアクターの主体的参加を礎とした協議会型住民自治組織が、分権化に果たす機能、その成果や課題を明らかにする。	
	経営学特論	「経営学特論」では、企業(組織)をシステムとしてとらえ、その意思決定メカニズムに関する様々な研究アプローチを紹介し、ヒト(Man)・モノ(Material)・カネ(Money)と情報(Information)といった3M+Iの経営資源に主眼を置きながら、3M+Iの経営資源と経営組織・経営戦略・イノベーション(Innovation)・組織間関係・社会的役割等との関係性を文理融合のアプローチから積極的に検討する。これにより、経営学を構成する各分野と各概念を有機的に結びつけ、近年の企業(組織)活動の動向と経営学の新たな展開に関する総合的・体系的理解を深めていく。	

	国際文化論	<p>この科目では、「文化」に焦点を当てて国際社会を理解し、国際社会の一員としての地域社会のあり方について考える。現代は、国際社会と地域社会が直接結びつき、グローバルな問題と地域社会の課題が密接に関わっている時代である。また、21世紀に入ってから世界では文化的衝突や文化的紛争が頻発していることから、国際的な視点で文化を捉えることが地域社会の発展を考える上でも重要である。</p> <p>授業では、こうした時代的背景について学びながら、①現代の世界や地域社会で文化が持つ意義を理解するとともに文化の多様性に内在する問題について考え、②現代の国際社会の課題の文化的背景や関係性について深く考察し、③多文化化する地域社会の課題について自らの意見をまとめてディスカッションを行うことを通して、世界的視野に立って地域社会の発展を考えることを目的としている。尚、授業では日本語と英語の教材を使用する。</p>	
--	-------	---	--

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。